

第2回広報委員会次第

令和4年10月18日（火）

1 委員長開議宣告

2 議 題

(1) 議会だより第251号原稿の確認について

(2) その他

3 委員長閉会宣告

令和4年

11月1日

No.251

まつど議会だより

発行/松戸市議会
編集/広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

21世紀の森と広場 「あそびのすみか」に

新たな 大型遊具が 誕生しました!

松戸市
オリジナル

子どもたちが楽しみながら自然への興味や関心を育むことを目的として作られた遊び空間「あそびのすみか」に、多くの皆さまからの寄付をいただき、3つの大型遊具が仲間入りしました。豊かな自然を感じながら、大型遊具で楽しい時間をお過ごしください。

●問い合わせ先
21世紀の森と広場管理事務所
TEL 047(345)8900

スパイラルフォレスト



地上10メートルの高さから木々の横を滑り降りる全長50メートルのローラースライダー

冒険トレイル



ネットボックスの中の不安定な足場で身体能力とバランス感覚を鍛えながら遊ぶことができるネットクライム

縄文トンネル



バーベキュー場から「あそびのすみか」へ導き、期待感を高めるタイムトンネルをイメージ

市議会トピックス

令和4年度松戸市一般会計補正予算(第4・5回)を可決

補正額 第4回 37億7,793万8千円

第5回 10億8,030万5千円

※詳細は3面に記載しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組み

9月定例会においても、引き続き、換気、消毒の徹底等とともに、以下のとおり感染拡大防止策を図りました。

●一般質問は発言時間を通常60分から25分に短縮しました。議案質疑は質疑時間を通常30分から10分に短縮し、決算討論は通常割り当てられた時間から換気時間を短縮しました。

松戸市議会の情報を
ホームページで公開しています

本会議の様子は、松戸市ホームページのまつど市議会の「インターネット議会中継」から、お手持ちのパソコン、スマートフォンおよびタブレット型端末等でご覧いただけます。



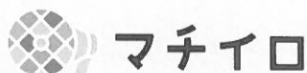
松戸市議会 🔍 検索

議会中継

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。詳細は下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

9月定例会

令和4年9月定例会を8月31日から9月28日まで開催しました。今定例会では、初日に市長から提出された公平委員会委員の選任議案1件、固定資産評価審査委員会委員の選任議案1件それぞれに同意しました。このほか市長から提出された3年度決算の認定議案11件、補正予算を含む一般議案21件、市民の方等から提出された請願4件を、それぞれの委員会において審査しました。最終日には、これらの案件のほかに市長から追加提出された4年度補正予算案1件を可決しました。また議員提出議案6件を上程し、採決しました。(2面に審議結果、3面に決算審査の主な質疑、7・8面に討論を掲載)なお29人の議員が市政に関する一般質問を行いました。

委員会の審査から

9月8日・9日・12日・13日・14日に各委員会を開催し、提出された議案等について審査しました。ここではその審査の中での主な質疑・答弁(要点)を掲載します。

総務財務常任委員会

議案第17号 令和4年度松戸市一般会計補正予算(第4回)

問 子ども食堂に対する補助金の交付要件を伺う。

答 各子ども食堂の特徴や独自性を生かせる補助金の制度設計を行う。具体的な要件は①市内で活動する3人以上の団体であること②子ども食堂を定期的に開催すること③衛生管理を適切に行うこと④子ども食堂を利用する子どもたちの様子を見守り、状況に応じた相談対応等に努めることなどを想定している。

問 商店街共同施設支援事業の事業内容およびLED街路灯の設置状況を伺う。

答 本事業は商店会等が設置している街路灯のLED化費用補助率を引き上げ、省エネ設備への移行を促していく。また令和4年3月31日現在、街路灯総数1659基に対し、LED化分は1436基であり、残り223基については、商店会等へ個別周知しLED化への移行を推進していく。

健康福祉常任委員会

議案第19号 令和4年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第1回)

問 前年度繰越金について、例年と比較した増減を伺う。

答 令和4年度の補正額は、前年度と比較して13億4398万8千円の減額となっている。介護保険の予算計上は、3年ごとに策定する介護保険事業計画を根拠としており、計画の最終年度は計画額と決算額との乖離が大きくなる。そのため3カ年計画の3年目である2年度決算と比較し、計画の1年目である3年度決算では、繰越金は減少している。

問 介護保険事業費補助金について、システム改修の内容を伺う。

答 4年10月の介護報酬改定に伴い、介護保険指定事業所台帳の管理システムを改修するものである。

教育環境常任委員会

請願第1号 ゆきとどいた教育を推進するために小学校では35人以下学級にすることをとめる請願

問 令和4年度は小学校1年生から3年生まで35人以下学級となっているが、4年生から6年生における35人以下学級が実現できている学級数について伺う。

答 現在、市内全小学校4年生から6年生の中で、355学級のうち297学級、84%の割合で35人以下学級を実現できている。

問 5年度の新5・6年生を市独自で35人以下学級にするために必要な学級数と人件費について伺う。

答 学級数は5年生9学級、6年生10学級、合わせて19学級増え、人件費は県費講師を参考にすると、年間、19名分で8550万円となる。

建設経済常任委員会

議案第20号 令和4年度松戸市都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1回)

問 土木施設設計修正業務委託について、設計変更による減歩率への影響があるか。また区画整理事業費全体に増減が生じるかについて伺う。

答 令和3年3月に千葉県から土砂災害特別警戒区域の指定があり、土地利用計画を修正するが、本委託による道路面積の詳細検討を受けて、今後減歩率や事業費を示していく。

問 立体換地建築物実施設計業務委託を実施するに至った経過を伺う。

答 5年度にかけての地権者による立体換地の申し出にあたり、「詳細設計がないと判断が難しい」との意向を受け検討したものである。

公共施設再編検討特別委員会

議案第18号 令和4年度松戸市一般会計補正予算(第5回)

問 国への取得等要望書を提出した後、市役所の位置を変更する条例が上程され3分の2の議決が得られなかった場合、財務省との土地売買契約自体無効になるのか。

答 土地売買契約上、どのような取り扱いになるか財務省との協議になると考えている。

問 新拠点ゾーンの開発手法を土地区画整理事業とした理由を伺う。

答 敷地の整序、道路等の公共施設の一体的な整備ができること、松戸中央公園、相模台公園を国から引き続き無償にて貸付が受けられること、また土地増進分の保留地が捻出され、事業費を賄うことができることなどから、取り入れた。

令和3年度決算審査特別委員会分科会

各常任委員会を基に構成した分科会で、令和3年度決算の審査を行いました。ここでは主な質疑等を掲載します。

総務財務分科会

総務費

問 IT活用計画推進事業のRPA(ロボットによるパソコン操作の自動化)について、業務効率化の具体的な成果を伺う。

答 国保年金課の国保システムにおける保険料算出所得入力業務について、対応前は年間388時間の作業が78時間で完了し、約120万円の削減効果となった。また新型コロナウイルスワクチン接種の予診票読み取り業務については、年間1520時間の作業が83時間で完了し、約560万円の削減効果となった。双方とも人為的なミスが減少し、業務の正確性が向上した。

問 分散備蓄倉庫について、市内全ての小中学校への設置は完了したのか伺う。

答 令和3年度に小中学校20校整備を行い、市内全ての小中学校の整備が完了した。今後も備蓄品の適正管理に努めていきたい。

教育環境分科会

総務費

問 ユーカリ交通公園管理運営事業における運営上の課題について市の認識は。

答 ハード面については、施設の老朽化に対する今後の維持管理体制が課題であると認識している。またソフト面については、安全で安心して、気持ちよく利用していただけるよう、指導員の接遇等の在り方が課題であると認識している。

教育費

問 小中学校の施設維持管理事業において、屋内体育館の改修の中で、車いすトイレの対応状況を伺う。

答 屋内体育館のトイレについてはリフト方式で改修しており、新しい体育館等を除く62校のうち、令和2年度9校、3年度9校の改修を終え、4年度は33校の改修を行っている。5年度夏までに11校を改修し、全て車いす対応のトイレとなる予定である。

建設経済分科会

土木費

問 21世紀の森と広場施設整備業務の成果について伺う。

答 令和2年度入園者数6万3554人に対し、3年度は遊具施設「あそびのすみか」が7月に第一期供用開始したこともあり、過去最高の7万2809人が来園した。松戸競輪特別会計

問 3年度の勝者投票券売上金について増加の要因②成果について伺う。

答 ①開催日数の増およびミッドナイト競輪を中心としたインターネットでの売上の急増による②一般会計繰出金3億円や投票機器の大規模修繕費を、開催経費と別に支出してもなお、大きな収益を確保できた。

問 3年度の勝者投票券売上金に占めるインターネット・電話投票の割合は。

答 207億3039万5千円で3年度の売り上げの83・92%である。

一般質問

9月定例会では、9月1日・2日・5日・6日の4日間にわたり、29人の議員が市政に関する一般質問を行いました。その中から、主な質問と答弁の内容をお知らせします。

※議長・副議長および議会選出監査委員は、一般質問を行っておりません。

一般質問の発言時間短縮について

今定例会においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般質問の発言時間を通常60分から25分に短縮することを議会運営委員会で決定しました。

医療的ケア児について

公明党

岩瀬 麻理

問 二分脊椎症のような医療的ケア児の相談があった場合、小中学校の看護師配置についての現状と課題を伺う。

答 本市における看護師配置については、医療的ケアの内容や指導医、看護師アドバイザー

からの助言等から総合的に判断している。令和4年8月1日現在、看護師12名で対応しており、配置後も指導医等による巡回指導や研修により安全に医療的ケアを提供できるように支援体制の整備を進めている。今後の課題としては、安定的な人材確保、組織的な支援体制の構築など多くあり、保護者との協力体制や他部署等との連携を密にしていくなかで、必要性を感じている。



新しいスポーツ振興について

公明党

飯箸 公明

問 スケートボード、BMX、3x3バスケットボールなど若者に人気の高い新しいアーバンスポーツ振興を、まちづくりに生かすことが望まれると考えるが、本市の見解を伺う。

答 アーバンスポーツについ

ては、策定中の松戸市スポーツ推進計画においてスポーツ振興の重要な項目の一つと捉え、アーバンスポーツのニーズも踏まえた身近なスポーツの場の整備や機会を充実する方策などに取り組む予定である。一方で騒音などの課題もあるため、アーバンスポーツの振興と迷惑行為の抑止の両立を目指していく。今後は、イベントなど若い世代にとってまちの魅力につながるような取り組みを進めていきたい。

地域包括ケアについて

立憲民主党・無所属

成島 良太

問 地域包括支援センターや居宅介護支援事業所の負担軽減について、本市では、何か対策を施しているのか伺う。

答 居宅介護支援事業所の指定更新等の際に実施する運営指導で、令和4年度より確認する

文書と確認項目の数を削減した。また介護サービス計画書についても、これまでは全て書面での確認を求めていたが、4年度より電磁的記録で作成している場合は、タブレット等の閲覧による確認で済ませ、印刷を不要としている。介護保険サービスの利用者増加に伴い、今後も介護支援専門員の業務量増加も見込まれるが、引き続き国の動向を注視しながら、さらなる事務負担軽減策を検討していく。

視覚障がい者対策について

公明党

城所 正美

問 国土交通省は道路のバリアフリーに関する運用指針を改定し、視覚障がい者が踏切の位置を把握できるように、道路管理者に対し「視覚障害者誘導用ブロック」を整備する方針を決めたが、本市の整備について伺う。

答 本市では、松戸地区と新松戸・幸谷地区の、駅周辺や駅と公共施設を結ぶ道路のバリアフリー整備が既に完了しているが、市道と交差する踏切が30カ所ある。今回の改定を受け、まずは現地調査を行い、道路幅員や構造、周辺の状況を把握する。また誘導用ブロックの整備については、今後国の具体的な整備方針が示された後、千葉県や他市の動向を注視しつつ、実施に向けて検討していきたい。

インフルエンザ予防接種について

公明党

松尾 尚

問 日本感染症学会はインフルエンザが2022年に日本で流行する恐れがあるとして、インフルエンザのワクチン接種を「強く推奨する」という見解を発表した。本見解に対する市の見解とインフルエンザのワクチ

ン接種を推奨するための対策は、日本感染症学会が提言においては推奨しており、本市でも対策の必要性を検討している。新型コロナウイルス感染症対策で普及した手指衛生やマスク着用等が、インフルエンザ予防としても効果的であったことから、市民に対し予防に有効な情報を提供するとともに、予防接種については本提言を踏まえ、国の動向を注視しつつ迅速に対応していく。

市民の命をつなぐ 救急救命について

公明党

篠田 哲弥

問 本市の救命講習の幅広い取り組みや、機会を増やすことへの考えを伺う。

答 本市において実施している各種救命講習会については、コロナ禍以前に比べ、件数、受講者数ともに大幅に減少した。

その対応策として、AEDを使った心肺蘇生法の動画を配信したところ、再生回数は3万回を超え、コロナ禍においても救命講習会のニーズは高いと実感している。さらに令和4年度は3年度に比べ講習回数を2倍に増やし、新たに小児、乳児に特化した救命講習会等に取り組んでいる。今後は1人でも多くの市民が救命講習会を受講できる環境を整え、引き続き市民の安全・安心の確保に努めていく。

森のホール21のバリアフリー化について

公明党

鈴木 智明

問 今後、森のホール21の大規模改修が検討されるが、全ての方が快適に利用できるようなエレベーターの増設やエスカレーターの新設など、早期にバリアフリー機能の強化を図ることができないか市の見解を伺う。

答 ホールのバリアフリー化の現状は、大ホール内のエレベーター、小ホール内のスロープによる移動などであるが、わかりにくいためそれぞれの出入口の案内をしている。エレベーターの増設やエスカレーターの新設など大規模な施設の改善は、建物の構造に影響することもあり、今後想定される大規模改修時に併せて、バリアフリー機能や利用者のニーズを踏まえて総合的な検討を行っていきたい。

町会・自治会の負担軽減について

公明党

伊東 英一

問 町会・自治会が管理している掲示板に張り出す掲示物について、本市からの掲示物が風雨により飛ばされたり、汚損することがないように紙質を改善する考えはないか伺う。

答 本市では、各担当課で作成した掲示物を町会・自治会に2週間を目安に掲示を依頼している。令和4年度は8月末までに20件依頼し、うち12件は一定程度の風雨に耐えられる紙質で作成、残る8件は普通紙や厚みのある上質紙に印刷したものであったため、劣化等により2週間を待たずに破損したものがあつたことを確認した。今後、依頼する掲示物については掲示期間に耐える紙質とするよう、担当課と協議し順次対応していく。

松戸競輪事業について

はじめの会

岡本 優子

競輪事業の目的に地方財政への寄与があり、運営に際しては収益確保に努め努力していることと思うが、車券売り上げ向上の取り組みについて伺う。

近年の競輪業界の状況は、インターネットによる車券販売

が主流となっている。そのため、インターネットを主眼とし、令和4年6月のGⅢナイターでは、フォロワーの多いVチューバーと、ライブ動画の配信等のコラボイベントを実施した。これらに関連する車券売り上げは、約4726万円となった。今後もVチューバーの起用等インターネットを活用した対策を強化し、お客さまが楽しめるよう努力していく。



災害対策について

公明党

諸角 由美

発災時における市内小中学校避難所へのペット同行避難について、市はペットの防災対策を案内しているが、取り組みやすくするためのガイドライン作成とペット専用スペースの確保について考えを伺う。

大規模地震の際には市内106カ所全ての避難所でペットを受け入れるが、収容場所の指定はないため、今後教育委員会や各小中学校の避難所運営委員会等と協議・検討していく。ガイドラインの作成については環境省が示す「人とペットの災害対策ガイドライン」に基づき対策を図っていく。なおペットの避難スペースについては千葉県獣医師会東葛支部の獣医師の助言を受け研究していく。

災害時の障がい者避難支援の強化について

公明党

織原 正幸

現在、国はハザードマップのユニバーサルデザインに関する検討会を立ち上げて、障がい者へのリスク情報提供の在り方を検討しているようだが、障がい者一人一人の環境やニーズに合ったハザードマップの作成

について本市の認識を伺う。本市では「情報がわかりやすい」「伝わりやすい」を考慮し各種ハザードマップを作成しており、さまざまな情報発信手段を用いて周知を図り、自助に活用いただいている。また災害時の避難行動には、地域のつながりによる共助も重要であるため、引き続きパートナー講座等で共助の重要性の啓発に努めていくとともに、本検討会における検討状況を注視していきたい。

下水道整備について

松政クラブ

箕輪 信矢

五香十字路から金ヶ作交差点を通り、金ヶ作保育園方面に続く道路沿道地区の下水道整備について、令和5年度以降の整備予定を伺う。

田汚水幹線に流入し、県道松戸野田線、いわゆる流山街道の古ヶ崎3丁目地先において県流域下水道へ接続するため、最上流となる金ヶ作地域の到達まで時間を要したが金ヶ作中学校付近まで整備が完了した。4年度は、金ヶ作交差点付近まで幹線の延伸工事を予定しており、今後は、6年度までに金ヶ作保育園や金ヶ作小学校を含む、市街化区域における公共下水道の整備完了を目指して取り組んでいく。

松戸版高齢者のシェアハウスについて

立憲民主党・無所属

DELLI

高齢者が自然に社会参加機会を持ち、少しでも働き、金銭的な不安を持たずに助け合うことで自立を促進することを目指し、空き家を有効利用したシェアハウスを推進できないか。

スは高齢者が共同生活することで、入居にかかる費用の抑制、お互いの見守りによる安心やコミュニケーションの活性化につながることを期待される。本市としてもシェアハウス建築に際し、その一部に、住民主体の介護サービスや通いの場等の高齢者の社会参加の場を設置することで、運営費を補助する仕組みの検討を続けていく。今後も高齢者が安心して暮らせる仕組みづくりを進めていきたい。

介護認定に至らない高齢者の地域活動における移動支援等について

立憲民主党・無所属

増田 薫

高齢者の移動や地域活動など、外出をできる限り可能にするための取り組みや支援策について伺う。

するほか、高齢者の外出を促すガイドブックを配布する予定である。また高齢者の自立の維持・増進を応援する「元気応援キャンペーン」の協力企業や団体に、所有する土地へ高齢者の休憩場所となるベンチを設置していただくことも考えられるため、企業等に積極的に働きかけしていく。今後も高齢者の社会参加を促進し、地域内を安心して移動できる仕組みづくりを、地域と引き続き検討していく。

第7波の新型コロナウイルス感染症状況と対応について

日本共産党

山口 正子

①自宅療養者の対応について千葉県松戸保健所の対応と松戸保健所への応援体制を含めた市の対応②施設ごとの集団感染発生状況と対応についてそれぞれ伺う。

観察や体調不良時の入院・受診調整、配食サービス、パルスオキシメーターの配布等を実施している。市は松戸保健所に4名の応援職員を派遣し、独自に買い物代行サービスも実施している。令和4年7月から8月30日までの県公表分として82件発生しており、うち半数が高齢者施設、続いて医療機関、児童福祉施設の順に多い。市は検査事業の案内等や感染拡大防止策に必要な経費の補助等を行っている。

公立保育所民営化について

はじめの会

小沢 曉民

100名定員の公立保育所を民営化した場合、経費はどのようになるか。民間保育園の存続を確保するという観点からも、公立保育所の民営化は必須だと思いが、市の見解を伺う。

除いた形で積算すると年間約1億5千万円程度の削減が見込める。民営化へ向けた課題の一つである支援や配慮が必要な子どもへの対応は、現在、民間保育園での受入れ体制が構築されつつある。財政的な面では、国が新たに公私連携型保育所の補助金等を創出し、市の負担軽減につながる民営化が可能となった。今後は保育需要に対応しながら、需要が落ち着いた際に民営化等の検討を進めていく。

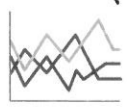
松戸市病院事業の経営計画(第3次)について

はじめの会

鷹野 聡

計画期間における松戸市一般会計繰入金と、計画期間が終了する令和8年3月末時点の資本金、欠損金累計および純資産の見込みを伺う。

34億円だったが、4、5年度約29億円、6年度約26億円、7年度約25億円と計画しており、将来的には22億円程度で持続的に経営できるようにしていきたい。また純資産などの見込みについては、不確定な要因はあるが、計画を基本とした場合、8年3月末の資本金約256億円、欠損金累計約226億円、純資産合計約34億円を見込み、債務超過とはならないと推計している。



障害児支援について

日本共産党

ミール 計恵

働きたい保護者がフルタイム勤務も可能となるよう、放課後等デイサービスの開所時間を放課後児童クラブと同様にすべきと考えるが市の見解を伺う。

本市では松戸市放課後等デイサービス事業所ガイドブックを作成し、開所時間の案内をしている。令和4年度版では、開所時間18時までが23カ所、18時半までが3カ所、19時までが7カ所、19時半までが5カ所あり、利用者は開所時間も参考に事業所を選択できる。さらに4年度から事業所が開所時間を延長した場合に人件費の一部を補助する事業を始め、開所時間延長の支援を行っている。今後も保護者のニーズ等を注視しつつ、さらなる支援を検討していく。

投票所における職員の対応について

立憲民主党・無所属

戸張 友子

選挙では、期日前投票の定着等で投票率はアップしているが、投票所には健常者だけではなく、目に見えない障がいのある方などさまざまな人が訪れる。市民に対する職員対応としての研修や留意点について伺う。

本市では、投票事務従事職員に投票事務の留意点・心得等を記載した投票事務手引書の配布や、選挙のたびに投票管理者と事務主任に集合研修を実施している。また投票所ごとに事前リハーサルを実施し、繰り返し留意点や配慮事項等の周知や確認等を行うなど、投票所の管理に万全を期している。



施設の貸し出しに関する事務の不適切な取り扱いについて

無所属

中西 香澄

クリーンセンター体育室貸し出しに際して、報道により市職員が架空団体を登録し柔道団体に利用者番号を提供し不正を行っていた問題において①登録書類の名前の使用について相手方に承諾を得ていたか②団体

名簿がないのはなぜか③令和4年5月、6月に架空団体による予約・利用があるが、なぜすぐ是正しなかったのか。

サッカーU-12のコートについて

無所属

鈴木 大介

松戸運動公園の陸上競技場は、人工芝になったことでラインが引けなくなり開催できなくなった大会もあるとのことだが、公式戦ができるサッカーU-12のコート整備の見解を伺う。

公式戦は市内各所のスポーツ広場等を活用いただいている。陸上競技場の改修の際には、さまざまな要望を反映し現在のラインとしたところであるが、大会や公式戦等が開催できるスポーツ環境づくりは大切と認識している。今後も競技を主催する団体等の意見も伺いながら、策定中のスポーツ推進計画に基づき、誰もが親しめるさまざまなスポーツ施設の整備充実について積極的に検討を進めていきたい。

運転免許の返納について

松政クラブ

田居 照康

佐賀県では運転免許証を自主返納した人がタクシーを利用する際に運賃が2割引きになる事業を始めている。本市でもこのような運転免許返納事業を実施する考えはないか伺う。

自主返納者数は増加傾向である。高齢者のニーズとしては、各家庭に近い場所から利用できる個々に合った移動サービスが求められている。その手段としてグリーンスローモビリティ等の導入があり、またタクシー等を利用したオンデマンド交通や免許返納した人への配慮が課題と認識している。今後、公共交通の割引制度導入も含め、高齢者が利用しやすく安全に移動できるように総合的に検討していく。

市立東松戸病院内の新型コロナウイルス感染症対策について

立憲民主党・無所属

二階堂 剛

重傷者になるリスクの高い高齢者が多い東松戸病院で集団感染が発生したが、その原因究明と感染防止、入院患者対応状況について伺う。

東松戸病院内では、7月13日から8月2日までに計6人の委託事業者が、また4日から29日まで患者や職員計34人がクラスターとなった。対策として、濃厚接触者の特定、抗原検査等の実施、隔離措置などを行ったが、再び感染が拡大した。その後、入院患者や病院職員のスクリーニング検査、新規入院患者の受け入れ制限、病床の区分けなどを行い、感染拡大を防いだ。今後も感染防止を徹底し、市立総合医療センターと病院事業全体で感染対策に取り組んでいく。

クリーンセンタースポーツ施設の不適切な貸し出しについて

松政クラブ

石井 勇

令和4年7月27日の記者会見で、市長はクリーンセンター内スポーツ施設の利用予約抽選において、特定のスポーツクラブに有利になるよう取り計らった職員に対する訓告および厳重注意を発表したが、環境部長

が起立して謝罪をする中で、市長・副市長は着座のままであった。職員の不祥事の責任は市長にあると思われるが、着座のままであった理由について伺う。

小学校の外国語(英語)教育について

日本共産党

平田 きよみ

小学校では、新学習指導要領が全面実施となり3年目となった。新学習指導要領においては、学習する英単語の数が、小学校で600〜700語、中学校で1600〜1800語と

なっており、旧学習指導要領の1.5倍の量になる。子どもたちの負担と身に付ける上での手だて、工夫についての考えは。

小中学校で扱う語数については増加しているが、本市では小学校低学年から英語を学習していることで、よりたくさん語彙に触れる機会を設けている。市教育委員会としては、小学校の学習と関連付けながら指導していくことで、無理なく扱うことのできる語数であると捉えている。

補助犬が多機能トイレを使いやすい環境整備について

立憲民主党・無所属

関根 ジロー

令和4年8月19日盲導犬を普及させる会が市に提出した「松戸市管理の多機能トイレに『Welcome!ほじょ犬』ステッカーを掲示することの徹底を求める要望書」は、市管理の多機能トイレにさらなるステ

ッカーの掲示を推進することが願意となるが、市はこの要望書にどのように応えるのか伺う。

現在約7割の公共施設等の入り口に『Welcome!ほじょ犬』のステッカーを貼っているが、要望書の提出を受け、改めて公共施設等に入り口だけではなく多機能トイレにもステッカーを貼るよう関係各課と連携の下、掲示推進を図っていく。



東松戸病院・梨香苑の今後について

日本共産党

宇津野 史行

◎ 令和4年3月定例会での松戸市病院事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例可決以降、地域住民への適切な対応や配慮をしているか。また跡地売却方針について、住民説明会を開催し地域の要望を聞く機会を設けたかどう。

◎ 松戸市病院事業再編計画に係る住民説明会については、3年11月に3会場で計5回開催したが、条例の可決以降は現時点では開催していない。今後の予定としては、4年9月定例会の会期中に議員に対し、跡地活用の方針やスケジュール案についての説明を行う準備をしている。その後、住民説明会を開催し、地域住民の方からのご意見を承りたいと考えている。

市政を身近に感じられる施策について

市民クラブ

岩堀 研嗣

◎ 他自治体では、公園遊具や道路の破損箇所などの地域課題を、市民がSNSを活用して位置情報と写真を添付して情報提供する事例があり、市側のよりスピーディーな対応につながっている。このような取り組みは、

市民も市政をより身近に感じることができると思うが、本市で導入する考えがあるかどう。
◎ 公園に関して、年間2千件を超える電話やメール、手紙による通報があり、それぞれ職員が現地を確認した上で、委託業者に作業指示を出すなど迅速に対応している。SNSを通じて情報提供は、公園の安全確保や市民サービス向上につながる。ことから、関係する部署と協議し調査研究していく。

新松戸のまちづくりについて

松政クラブ

杉山 由祥

◎ 新松戸駅の常磐線快速列車停車が実現すれば、市全体はもとより首都圏全体の利益につながる大事業となるため、実現の可能性を探るべきである。駅周辺の活性化が及ぼす街全体への影響と実現に向けた進捗状況や

課題、市全体への影響を伺う。
◎ 快速列車停車実現により武蔵野線との交通結節機能や利便性が向上し、築年数の経過した建物再生の契機になると捉えている。また転入や駅利用者増加等による地域商業の活性化に加え、市内各路線や小金原地区、武蔵野線沿線等を中心に市全体の魅力が向上すると考えている。今後、経済波及効果を検証し関係機関と協議を進め、JR東日本に実現を働きかけていく。

決算審査特別委員会委員名簿

令和4年9月 (36人)

委員長	総務財務分科会	健康福祉分科会	教育環境分科会	建設経済分科会
岩堀 研嗣	◎ 飯 箸 公 明 D E L I	◎ 田 居 照 康 ○ 篠 田 哲 弥	◎ 伊 東 英 一 ○ 石 井 西 香	◎ 山 口 栄 作 ○ 鷹 野 計 聡
副委員長	松 尾 尚 岩 堀 研 嗣 宇津野 史 行 二階堂 剛 美 諸 角 由 美 孝 中 川 英 孝 小 沢 暁 民	○ 篠 岡 戸 山 箕 織 市 深	○ 石 中 成 増 平 鈴 岩 桜 末	○ 鷹 野 一 郎 根 木 大 剛 由 正 所

◎ 分科会委員長
○ 分科会副委員長

※議会選出監査委員の高橋伸之・大塚健児議員を除く。

人事案件

公平委員会委員および固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。(敬称略)

- 公平委員会委員 **梶 原 栄 治**
- 固定資産評価審査委員会委員 **小 野 光 寛**

意見書 2 件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、下記の意見書を提出しました。

- 地方の農地保全と活用のための支援拡充を求める意見書
- 女性デジタル人材育成を強力に推進するための支援を求める意見書

令和3年度決算について、7人の議員が定例会最終日に討論を行いました。ここでは、会派の討論を掲載します。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、討論時間を通常割り当てられた時間から換気時間分を短縮することを議会運営委員会で決定しました。割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

決算討論

公明党

令和3年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

一般会計の総務費では、庁内での起案文書の約14万件を電子決裁化したことで約71万枚の紙の削減となった。さらに決裁完了までの日数が平均1・8日短縮され、大きく業務改善したことを評価するとともに、今後さらなる取り組みを期待する。

民生費では「共働き子育てしやすい街ランキング2021」において、2年度に引き続き、総合編1位を受賞した。本市が進める保育インフラ整備に加え、保育所等の「質」を担保するための取り組みが評価されたものと考えている。さらに4年4月時点において、7年連続で国基準の待機児童ゼロを達成したことを大いに評価する。

労働費では「就職氷河期世代キャリア支援プログラム」等を活用し、コロナ禍で多くの若者が苦労している就労に対して、支援を行ったことに感謝するとともに引き続き、さらなる若者への就労支援を要望する。

商工費では、中小企業が効率的な経営を目指すには、デジタル化が必要不可欠である。松戸ビジネスサポートセンターの専門家相談により、売り上げや生産性の向上等に期待する。

教育費では、法律相談業務等委託料において、弁護士が児童生徒だけでなく、教職員へのトラブルにも対応し、存在の大切さを確認できた。今後はさらに弁護士の人数を増員し、全小中学校のサポートを要望する。

病院事業会計では、市立総合医療センターは経営努力により、経常損益は約2億3千万円の黒字を確保し、純利益は1億9千万円の黒字を実現した。黒字化は10年ぶりであるため、大いに評価する。引き続き松戸市病院事業経営計画（第3次）の取り組みを強化するとともに、市立東松戸病院の閉院に伴う民間医療機関の着実な参入に向けての尽力を要望し、賛成する。

市民クラブ

令和3年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

令和3年度は、松戸市総合計画と松戸市総合戦略の最終年度であることから、その検証評価、総括がなされた上で新たな総合計画に引き継がれていくべきという認識のもと、審査に臨んだ。総合計画検討事業および後期基本計画進行管理事業では、第6次実施計画実績報告書の未達成項目について、十分な検証を行い今後の各種計画の策定や企画立案等に生かすよう要望する。支所費では、ウィズコロナによる地域活動の在り方の変化等を踏まえ、支所機能充実について検討し、これからの時代の市民生活に定める行政サービスの実現を求め、また支所の在り方が市庁舎の在り方に影響を及ぼすことから、ソフト面での行政サービス提供体制を構築した上で将来の市民ニーズに配慮される市庁舎の実現を要望する。

幼児教育支援事業のうち私立幼稚園預かり保育促進業務では、長時間の預かり保育を実施する幼稚園の増加により、共働家

庭の選択肢が広がったことは、松戸市独自の本事業が影響しており評価する。土地区画整理事業では、常磐線快速列車新松戸駅停車調査により快速停車が可能という結果と概算工事費等が示され、JR東日本も前向きであると感じている。今後も新松戸駅東側地区土地区画整理事業と併せて早期の事業完成を強く要望する。その他の会計についても、適切な予算執行がなされていることから賛成する。

立憲民主党・無所属

令和3年度松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、他会計の決算に賛成する。

一般会計については、ポストコロナの社会実現に向けた、医療や介護の現場を支える医療体制・検査体制を確保しつつ、雇用と事業への支援策が行われた。総務費では、福利厚生事業のうち健康管理業務について、市民福祉の向上のためには、職員の健康管理が重要であることから、以前に行われていたノー残業デー内放送のような具体的な取り組みを行うことや、職員定数増の見直しを要望する。

土木費では、道路維持管理事業の道路損傷状況把握において、市民からの情報提供に伴い画像等が添付できる「ちば電子申請サービス」を活用することで、場所の特定や状況把握の迅速化、業務の効率化につながっていることを評価する。市民からの不法投棄や公園の不具合の情報提供にも、画像等の添付ができる「ちば電子申請サービス」の活用

用を広げるよう要望する。教育費では、ICT支援員の配置に関し、国の基準では16名必要だが、現状4名体制が続いている。一人の支援員が16校以上を受け持っている状態で、子どもたちに十分な教育が提供できているとは思えないため、改善を要望する。新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計については、市が約105億円でマンションを建設し、民間事業者が約92億円で販売する赤字計画であることや、高すぎる減歩率などの問題を指摘し、反対する。

松政クラブ

令和3年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

一般会計の総務費では、ウィズコロナを見据え、市民の利便性向上のため、よりスピーディーに市役所業務のデジタル化を推進するよう強く要望する。衛生費では、リサイクルセンターの完成に伴い、ごみの分別変更が行われた。より一層、ごみの適正処理と減量化推進の努力を要望する。さらに新焼却施設の建設に向け、説明責任を果たし、緊張感とスピード感をもって進めるよう強く要望する。

土木費では、松戸駅周辺地区土地区画整理事業、新松戸駅への常磐線快速列車停車の検討、北小金駅南口東地区第一種市街地再開発事業の推進は、持続可能な都市経営を目指し、都市ブランド向上のため非常に重要な事業だと認識している。市民の理解を得られるよう、後年度負担

にも配慮し進めるよう要望する。教育費では、文化財など松戸の資源を最大限活用し、観光分野等とさらなる連携を取りながら松戸らしい取り組みを推進することを強く期待する。歳入では、新型コロナウイルス感染症や経済情勢も不安定な状況が予測される中、引き続き市税の収納率のさらなる向上等への取り組みを期待したい。その他の会計についても適切な運営がなされ、所期の目的を達成していることから賛成する。

日本共産党

令和3年度一般会計、国民健康保険、競輪、介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、他会計の決算に賛成する。

一般会計の総務費では、安全対策費の市民参加型防犯カメラについて、市民のプライバシーを侵害し、多大なコストがかかり続けるため撤退すべきと指摘する。番号制度導入事業については、マイナンバーカードは情報漏えいや紛失のリスクがあり、プライバシー侵害につながるため番号制度そのものに反対する。民生費では、本当に子どもの利益を第一に考えているのか繰り返し指摘し、公立保育所の民営化はしないように求める。

土木費では、松戸駅東口の拠点ゾーン開発や新松戸駅東側地区土地区画整理事業など大型開発には積極的だが、情報は市民に示されず市民不在のまちづくりが強行される。その一方、市立東松戸病院は廃止し市営住宅は増設しようとする。金持

ち優遇とも見える三世代同居等住宅支援業務を廃止し、市営住宅新設や結婚新生活住宅支援業務などの施策の拡充を求める。教育費では、教育情報化推進事業について、ICT環境は学びのツールで、個別最適化した学びという名のもとに教育格差を生まないことが肝要と考える。

はじめの会

令和3年度一般会計、各特別会計および各企業会計全ての決算に賛成する。

一般会計の歳入歳出では、プライマリバランス黒字化の実現可能性が示されたと言える。歳出については2009億円の予算のうち63億円の不用額が発生している。予算と決算のギャップを示す指標である不用率は3.1%であるため、全体の予算執行についての違和感はない。特別会計では、不用率を中心に予算執行の状況を注視しており、歳入歳出決算7件の全体の不用率が1.8%であるため、大きな問題はないと判断する。

企業会計では、損益計算書、貸借対照表等の数字を中心に確認し、病院事業については市立総合医療センターの損益計算書で2億円の経常利益が出ている。医療損失が10億円ほど減り経営が改善したことが影響しているため、関係各位の尽力に敬意を表する。一方、病院事業全体の貸借対照表では232億円の資本金に対し欠損金累計が100億円の大口に乗り、財務的には脆弱な状況であるが、医療損失の削減や市立東松戸病院の廃止決定等経営の在り方を見直しに着手した点等総合的に評価する。

令和4年松戸市議会11月臨時会は11月28日（月）、12月定例会は、12月7日（水）から12月23日（金）まで、いずれも午前10時より開催する予定です。請願・陳情は、11月24日（木）正午が提出期限です。

11月臨時会・12月定例会の開催予定

日程	主な内容
11月28日（月）	臨時会招集日・本会議
12月7日（水）	本会議招集日・本会議（議案提案理由説明）
8日（木）	本会議（一般質問）
9日（金）	〃（一般質問）
12日（月）	〃（一般質問）
13日（火）	〃（一般質問）
14日（水）	〃（一般質問・議案質疑）
16日（金）	総務財務常任委員会
19日（月）	健康福祉常任委員会
20日（火）	教育環境常任委員会
21日（水）	建設経済常任委員会
23日（金）	本会議（議案等の採決）

※日程は、11月20日の市議会議員選挙後に正式に決定されるため、変更となる場合があります。またこのほか随時、委員会が開催される場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

議会傍聴について
傍聴についてはお問い合わせいただくかホームページでご確認ください。
●問い合わせ先 市議会事務局庶務課
TEL 0477(366)7381

編集の窓

新型コロナウイルス感染症については、感染者の全数把握の見直しが行われ、社会経済活動も正常化に向けて動き出しておりますが、オミクロン株の流行と物価高騰は、市の事業にも大きな影響を及ぼしています。今議会においても、それに対処する補正予算等も含まれており、限りある財源を効果的に活用するために熟慮してまいりました。11月には、市議会議員選挙が予定されており、引き続き市民福祉のさらなる向上のために市議会として取り組んでいくとともに、市議会をより身近に感じていただけるようわかりやすい議会だよりを発行してまいります。

次回発行予定は2月1日（水）です

広報委員会名簿

役職名	氏名	会派名
委員	嶋村新一	日本共産党
委員	井出昌子	公明党
委員	広瀬優斗	市民クラブ
委員	大和山太郎	市民クラブ
委員	西田善昭	市民クラブ
委員	戸張友子	立憲民主党
委員	岡本優子	はじめの会
委員	鈴木智明	公明党
委員	大谷茂範	市民クラブ
委員	伊東英一	公明党
委員	工藤鈴子	政策実現フォーラム・社民